

SSKO 2019. 9. 25
MHN No. 136

町田ヒューマンネットワークフェスティバル

〒194-0013

東京都町田市原町田2-22-26

プリモ・レガー口町田1F

TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <https://www.cil-mhn-enjoy.com/>

E-MAIL mhn89@nifty.com

あつ の さわ
集まった！飲んだ！騒いだ！

7月27日土曜日16時から、町田ヒューマンネットワークで恒例の暑気払いを行いました。参加者は、スタッフ含めて80人ほど。例年より少なめの参加者でしたが、あぶなげな雲が広がっていた中だったので、よく集まった方ではないかと思いました。最後まで雨は降らず、ぎりぎりセーフでした。

暑気払いといえば当然、生ビールをはじめアルコールあり。ジュースもちろんありました。食べ物は、餃子・フランクフルト・お肉・カラアゲ・お好み焼き・ソーメン・枝豆と、祭りの定番です。ヨーヨー釣り・くじもありました。⇒[次ページへ続く](#)



目次	
暑気払い	1～2
ピア・カウンセリング公開セミナー	2～3
ヘルパー募集チラシ	4
でかけ隊・広告	5
利用者講演会	6
障害者(児)の親プログラム	7
映画「道草」上映会	8
入職・退職の挨拶	9～10
れいわ新選組	10～11
事務局の動き	12～13
お知らせ・その他	14

スイカ割りでは、子どもたちが競って参加を楽しみ、その後、車いすメンバーが初体験のスイカ割り。人生何十年の初体験に会場がもりあがりました。テンション上がりまくりの夏のひと時でした。参加者の皆様、カンパもありがとうございました。(李)



ピア・カウンセリングセミナーを開催！

もう夏の去っていく後ろ姿が小さくなってきている今日このごろ、皆様ひどく暑い夏を超えて一息というところだと思いたがいかがお過ごしですか？

町田ヒューマンネットワークでは去る7月15日(祝)町田市民文学館(ことばらんど)においてピア・カウンセリングセミナー【～難病、内部疾患、見えない障害の方のためのピアカン～】を開催致しました。参加者はことばらどの大会議室にはちょうど良い感じの輪ができるほどの7人でした。自己紹介、握手大会から始まり「難病・内部



の
セ
の
ん
1

疾患向け」という副題？が、ついた経緯を私が話させて頂きました。⇒次ページへ続く

「^{しつぎも}疑も^{ふか}深いものだったりして、とても^{ゆういぎ}有意義な^{じかん}時間^{なが}が流れたと思っています。^{なんびょう}難病だ^{ないぶしょうがい}内部障害だ^{ないぶじつかん}内部疾患だと^い言い出し^{わたし}っぺの^{わたし}私にとっては^{おも}思いいれのあるこの^{こんご}セミナー、^{つづ}今後も^{つづ}続いてくれるといいな。と^し締めて^{たにかわ}おこつと。(谷川)

※以下はこのセミナーに参加された方の感想文です。

【ピア・カウンセリング公開セミナーに参加して】

以前、一度だけピアカンのデモンストレーションを見たりセッションをやってみた経験はあり、初心者向けではありましたが、自分としては今回もう一度体験することで、もう少し理解が深まったと思っています。

正直に言って僕自身はあまり馴染めず、実際のセッションはストレスを感じましたが、でもそれを必要としている人がいるということ、その場を楽しみにしていたり、ある種救いの場にされているように見受けられる方もいるということ、極端な言い方ですが、それは“^{とうと}尊い^ば場”であると思いました。

そこでの展開は、一般的に想像されるところのカウンセリングとは随分趣の違うもので、“相談者とカウンセラーの関係が入れ替わる”こと、“似たような悩みや問題を抱えている者で行う”こと、“カウンセラーはまず傾聴に徹し解決策など指導はしない”こと、といったルールにより、日常的な空間や人間関係から切り離され、自分自身を見つめるための独特な機会を提供するものでした。

特に「感情をあえてむきだしにする」方法の良い所は、実社会においての様々な制約(論理的な主張を求められ、冷静な判断を求められたり、“常識的な大人”として振る舞わねばならなかったり)が一時的に取り除かれることにあると思いました。それによって、自身の本当の気持ちや欲求があきらかになり、自身の深層心理の核となるような価値観を自覚し、実際的に悩みや問題に向きあうためのヒントを自分自身から導き出して行くことと繋がるように思われたのです。

当事者団体であるMHNがなぜ継続的にピアカンに重きをおいて取り組んでいるのか、その重要性が理解できた気がしました。これからは是非続けていって欲しいと思います。(介助リーダー：内藤)



ヘルパー 大募集!!! (男女問わず)

町田ヒューマンネットワークの3つの安心

- ① 同性介助だから安心!
- ② 無料で資格を取れるから安心!
- ③ 充実したサポート体制があるから安心!

地域で自立生活している障害を持った方をサポートするお仕事です。
ご家族、ご友人へもご紹介ください!
短い時間でもOK! 週1日でもOK! 早朝や夜間働ける方大歓迎!

時給 **1,300円~1,450円**

(介護福祉士資格手当+50円)



研修中(2ヶ月)/1,050円 時間外・深夜割増有(22:00~翌6:00)

勤務地 町田市及び近隣地域の利用者さん宅

勤務時間 週1日1時間から週40時間まで様々です。
あなたの予定をご相談ください。

資格 **資格がなくてもOK**

無料の資格取得講座を受ける必要があります。

交通費 上限1,500円まで支給

お問い合わせ ご興味のある方、お気軽にお問い合わせください。マイナビやタウンワークでも随時募集

特定非営利活動法人

町田ヒューマンネットワーク

TEL **042-721-5044**

FAX 042-724-7996 (担当:鈴木)

〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガーロ町田1F ヘルパーステーション・マイライフ

でかけ隊^{たい}

6月22日(土) 今回が最後のでかけ隊になりました。行き先は、何度も行っていますが、江の島です。当日、朝まで雨が降っていましたが、止んだので予定通り行く事にしました。しかし、徐々に天候が悪化し、本降りになってしまいました。ですが幸いにも水族館の中で過ごせたので、あまり降られずに済んで良かったです。イルカショーを前の方の席で見た人は迫力があって水しぶきがかかったと言っていました。ショーの時間に間に合わなくて見られなかった人もいたのが、残念でしたが、その分ゆっくり館内を見て回ることができました。プールで泳いでいるイルカを、近くで見られたので、ショーよりもじっくりと見る事ができた気がします。また、電車に乗っている時間が短いと、現地で焦らずにゆっくり過ごせるし、お土産を買う時間もできるので、お出かけの時間を楽しめたいと思います。

町田ヒューマンネットワークの事情で、でかけ隊を続けていくのが難しくなってしまう、終了する事になりましたが、今回は5月に退職した齊藤功さんがリーダーとして参加し、今まで担当してきた職員で終えることができました。最後としては良い形になったと思います。



これまで参加してくれたみなさま、支えてくださった方々に、この場を借りて改めて、感謝の気持ちを伝えさせていただきます。本当にありがとうございました。(丸山)

福祉機器のトータルプランナー

PAMUK
パムック

〒133-0061

東京都江戸川区篠崎町7-23-5

TEL:03-5666-4801

EMAL:PAMUK@PAMUK.CO.JP



りょうしゃこうえんかい かいさい 利用者講演会を開催！

7月16日(火)に会員・利用者である、川上裕美さんを講師に迎えて、事務所フリースペースで利用者講演会を開催しました。

今回は介助者勉強会を兼ねて行ったので、介助者は多数の参加でしたが、利用者や障害当事者会員の参加は3名と少し寂しいものとなってしまいました…告知や呼び掛けの方法にもう一工夫しないとイケないと反省しています。

川上さんのサポート役として40年来の友人である井上廣美さん(町田ハンディキャプ友の会事務局長)が同席、生まれ育った兵庫県から町田市に移り住んで来た経緯、これまでに関わってきた活動などについて話していただきました。

川上さんは主に自身のサクセスストーリーを語り、合間に井上さんがそれに関連した国や都、町田市の福祉施策について話してくれましたが、

川上さんと井上さんの息がぴったり噛み合っていて、参加した人も良く聞き入っていました。

川上さんの話のまとめは自分が人生を切り開く気持ちと行動があれば結果は付いてくる…自分から声を掛け仲間になれば人も集まってくる、それと自分らしさを見失うことさえなければ「なるようになる」「それなりに生きられる」ということ、そこに障害の有無はあまり大きな要素ではないのかな?と。

※「なるようになる」は川上さんの座右の銘です。

制度や施策は詳しく話そうとすれば難しくなりがちですが井上さんの話はとても分かりやすく、特に町田の福祉は映像も視聴する時間を交えたので、間延びしなかったと思います。

川上さん、これからも自分らしい人生をエンジョイしてくださいね。(川上一三)



障害者(児)の親プログラムを開催!

しょう 障害当事者の自立をサポートするとき、親との関係がとても大切なものと感じています。この講座は、ピア・カウンセリングの手法(同じ背景をもつ親同士の気持ちの聞き合い)を基に、親は親、子は子の人生を持っていることを確認し、サポートし合える関係づくりを目指しています。

今年度は、5月14日から「親の自立・子の自立」をテーマに開催しました。今年、以前この講座に参加された経験がある方や、ずっと参加したいと仰っていた方など、様々な方にとって新たな情報共有の場となり得たことで、継続していく講座の力を感じています。

このプログラムは、子どもの事はもちろん、自分の親の事、兄弟姉妹、パートナーの事、制度についてなど、全6回に分けて行います。その中のお出かけプログラムでは、2つの場所を見学することが出来ました。1つ目は、特例子会社のブックオフグループです。ここでは、実際に働いている現場を見学し、サポートをしている職員の方から、安心して働き続けるための様々なサポートの仕組みをご説明いただきました。参加者の方は、熱心に質問をされていて、とても有意義な時間となりました。

2つ目は、相模原市にある多機能型事業所の「あみ」「くれあ」です。ここは、レストラン(あみ)とチャリティショップ(くれあ)を運営し、主に精神障害のある方に特化した福祉サービス施設ですが、様々な障害を持たれた方が働きながら、生きがいを持てるよう就労を支援している団体です。

仕事をしていく上で、様々な工夫がなされて、その工夫が日々進化している過程も見ることが出来ました。半日では、周りきれないくらいの中身の濃い時間となりました。

これからも、自立をサポートしていく過程で、この講座が、親と子の相互間のより良い関係性づくりに繋がっていくことが出来たらと思っています。(福島)

【参加者の声】

このプログラムに参加をしてみて、改めて親と子との関係について考えさせられました。

そして、親や姉弟との関係についても今までこれとって考える事はなかったので、良い経験になりました。

自分と子供を離れた考え方に、また一歩前に進めたように感じています。沢山泣いて、笑って。自分の話を聞いてもらい自分の考えを整理する、とても良い機会になりました。参加者の皆さんを含めて、とても良いプログラムに参加することができて、とても嬉しかったです。ありがとうございました。(Hさん)

えいが 映画「道草」の尖戸監督と対談させていただきました！

8月22日(木)、和光大学ポプリホールで、映画「道草」の上映会が行われました。

「道草」は、重い行動障害と知的障害を持つ青年たちの、介助者のサポートを得ながら地域で生活する様子を追ったドキュメンタリーです。

町田市内の障害児者を持つ親たちによる「実行委員会」主催の上映会で、ほかにもライブあり、シンポジウムありの盛りだくさんな企画でした。

「道草」の上映は昼と夜の2回あり、MHNでは、「介助者勉強会」としてヘルパーにもぜひ観てもらいたい映画だったので、協力団体としてチケット販売等をさせていただき、また上映会の最後に尖戸監督と対談する機会を設けていただきました。



対談では、

- ・介助者は、何か(お店の物品を壊したり、他者をたたいたりしてしまったり)あった場合、「100対100」の、障害者と同等の責任を負いながらサポートを行なっている(金銭的なものは支援団体の保険対応)。
- ・お店を壊してしまった場合など、警察を呼ぶが、警察も障害者には慣れている。支援団体も警察をひとつの「資源」ととらえている。
- ・近所から物音に対する苦情が来るので、借家を転々としたのち、支援団体で一軒家を購入した。

等々、画面からは見えないエピソードをたくさんしてくださいました。

何よりも、尖戸さんの「生産性で生命の価値が図られがちな世の中だけど、どんな生命もそのままに価値がある」という、一貫した理念が伝わってきて、心地よかったです。映画のテーマは重いにもかかわらず、ふんわりとした、心地よい風のような風景が随所にあり、尖戸さんの人柄とも重なり合って感じられました。

MHNでは、まだ「行動障害」の方の自立生活サポートは行っていませんが、実現できるよう、力を付けていきたいものです。(堤)

にゅうしょく あいさつ 入職の挨拶

7月からコーディネーターになりました、梶田道夫と申します。2002年から常勤ヘルパーとして、2013年から介助リーダーとして勤務してきました。介助者として働き始めた当初から、利用者と介助者が2者で向き合うだけでなく、事業所やセンターによる、利用者と介助者へのサポートも必要だと感じてきました。介助リーダーとしてその課題に取り組んできましたが、コーディネーターになっても継続していきます。



加えて、人手不足という大きな問題に直面し、町田ヒューマンネットワークも変革を迫られています。障害を持つ人が、当たり前前に介助や支援を得て、地域で「ふつうに」暮らせる状況を作りたい、守りたい。介助を始めた当初から変わらない思いで、尽力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します
(梶田) 2019.07.01付入職

たいしょく あいさつ 退職の挨拶

この度、退職することになりました。

1996年4月入職してから約23年に渡り在籍させていただきました。

その間、脳や心臓や色々ありつつでしたが、長い期間を町田ヒューマンネットワークで過ごさせて頂きました。ヘルパーさんや多くの方々に支えられていたからこそここまで来られたのだと思えます。本当に色々ありがとうございました。



振り返ると私のMHNにおける原風景はキャブの運転手でした。運転手としてアッチコッチに走ったモノでした。

そんな中、プログラムにも初めは研修としてから、ピア・カウンセリングや自立生活プログラムに参加させてもらうようになり、少しずつその中にも入って行くようになりました。

それと同時に厚生労働省などに出向いて交渉団(厚生労働省内で実際に交渉団している人達)のバックから厚生労働省の建物を取り囲む(車椅子の障害者や支援者等で)ようにしてマイクリレーをし、『私たち抜きに私たちのことを決めるな!』のシュプレヒコールを繰り返したモノです。時に寒空の下、時には炎天下の中で。

そんな中で『制度は私たちの思う通りになったな!』とはとても言えず(T_T)今も尚(介護保険において)ミタいなことが続いています。⇒次ページへ続く

【運動】と呼ばれる部分はヒューマンにとって今後も大切なことだと思えます。

高校を卒業して初めて働いて10年勤めて1年の空白の後からお世話になった【町田ヒューマンネットワーク】23年余りに渡り大変お世話になり、色々学ばせて頂きました。これからも当事者主体を大切にしてくださいませように。長い間お世話になりました。(谷川) 2019.09.30付退職

みなさん、こんにちは。堀内です。

およそ10年間、特定相談事業とピアカン講座を中心に担当させて頂きましたが、昨年夏の首の骨折で長時間の通勤が難しくなり、この度退職させて頂くことになりました。



これまで、自立生活センターの当事者スタッフとして、障害があってもどうやったら地域で自分らしい生活を送る事が出来るのかをいつも考えながらサポートさせて頂きました。仕事を通して沢山の方とお会いし、人生の局面に関わらせて頂く事も多々ありました。困難な場面をみんなで乗り越えた瞬間は忘れられません。この仕事が出来て心から良かったと思っています。

今まで大変お世話になりました。そして、本当にありがとうございました。(堀内) 2019.08.31付退職



れいわ新選組の障害者議員に期待すること

●重度障害者議員が誕生した！

今年7月の選挙で、れいわ新選組の、難病ALSの船後靖彦さん、重度の障がいがある木村英子さんが比例特定枠で当選しました。歴史に残る快挙です！！

木村さんは、私にとっては昔からの知り合いで、長年、行政による24時間介護保障に取り組んできた方です。船後さんは、一面識もない方ですが、ALSの患者さんで、気管切開、人工呼吸器、胃ろうをしているそうです。

3年前、国会の委員会の参考人質疑でALSの患者さんの出席が、「やり取りに時間がかかるから」と言う理由で拒否されたことがありました。信じられない差別事件でした。

その後、国会は謝罪をし、参考人質疑は無事に行われたのですが、そんな国会にALSの患者さんが議員として誕生するのは、本当に画期的なことです。

昨今の風潮は、津久井やまゆり園の障害者殺傷事件にしても、福生病院の透析患者への治療の選択を迫って死に至らせた事件にしても、「社会の役に立たない人」とされたり、あるいは「回復の見込みのない」

とされる^{じゅうど しょうがいしゃ びょうにん}重度の障害者や病人は、生きてはいけないような^{くうき}空気があります。

そんな中、れいわ新選組の代表山本太郎氏の「たとえ^{じゅうど しょうがい}重度の障害を持っていても、寝たきりであっても、^{そんげん}尊厳を持って堂々と生きていける社会を作りたい」という演説にも共感しました。それこそ、^{わたし}私たちが日々^{かつどう}の活動を通じてめざしてきたことですが、それを「^{こくせい ば}国政の場に」という^{かたち}形で、^{じしん とうせん}自身の当選を投げ打って^{じつげん}実現したことがすごいです。

そして^{ふなご}船後さん、^{きむら}木村さんの、^{ふたり とうせん}お二人が当選したことが^{うれ}嬉しいです。

●^{ふたり}お二人に期待すること

^{ふたり とうせん}お二人の当選で、これまであまり^し知られることのなかった「^{じゅうどほうもんかいご}重度訪問介護」がクローズアップされました。「^{じゅうどほうもんかいご}重度訪問介護が使えないと国会に行くことすらできない。^{じゅうどほうもんかいご}重度訪問介護を、^{しごと がくぎょう}仕事や学業にも使えるようにしてほしい」という^{ようきゅう}要求を国会に出したのです。

^{れきし}歴史をたどれば、2010年に^{ねん じりつしえんほういげんさいばん}自立支援法違憲裁判の基本合意がなされ、翌2011年には^{ねん 基本合意}基本合意に基づく^{とうじしや}当事者を交えた^{まじ}国の^{すいしんかいぎ}推進会議で「^{こつかくていげん}骨格提言」ができました。

「^{こつかくていげん}骨格提言」には、「^{じゅうどほうもんかいご}重度訪問介護の利用に関して一律にその^{りようはんい}利用範囲を制限する^{せりつ}仕組みをなくす。また、^{けつてい}決定された^{しきゅうりょう}支給量の^{はんい}範囲内であれば、^{つうきん}通勤、^{つうがく}通学、^{にゅういん}入院、^{いち はんい}1日の範囲を越える^{がいしゅつ}外出、^{うんてんかいじょ}運転介助にも^{りよう}利用できるようにする。」と記されています。

でも^{くに}国は、^{こつかくていげん}骨格提言を^{むし}無視した^{かたち}形で2012年に「^{そうごうしえんほう}総合支援法」を^{せいりつ}成立させました。

その後、「^{にゅういん}入院」と「^{いち はんい}1日の範囲を超える^{がいしゅつ}外出」は^{さくねんど}昨年度から^{みと}認められています。残った「^{つうきん}通勤、^{つうがく}通学^じ時の利用」の^{じつげん}実現を^{きむら}木村さんたちは^{うた}訴えているわけであり、^{じつげん}ぜひとも^{じつげん}実現してほしいです。

^{わたし}私は^{じょうき}上記の問題の他にも、^{ふなご}船後さん、^{きむら}木村さんに^{じつげん}ぜひとも^{じつげん}実現してほしいことがあります。

- ① ^{じゅうどほうもんかいご}重度訪問介護を、^{ひつよう}必要^{ひと}な人には24時間^{じかん}認めてほしい。
- ② ^{ほうしゅうたんか}報酬単価を^あ上げて、^{しやかいてきちい}ヘルパーの^あ社会的地位を^あ上げてほしい。

^{まちだし}町田市では、^{いりようてき}いまだに「^{しや}医療的ケア」がない^{しょう}障がい者には、^{じかん}24時間の^{かいじょ}介助は^{みと}認められていません。また、^{さつこん}昨今の^{がそく}ヘルパー不足は、^{ほんとう}本当に^{ききてきじょうきょう}危機的状況です。この^{ききてきじょうきょう}危機的状況は^{ぜんこくてき}全国的な^{もんだい}問題なので、^{さつきゅう}早急に^{なん}何とかしてほしいです。

^{ふたり}お二人については、「^{そんざい}存在^{こつかい}だけで国会を^か変えている」と言われますが、「^{そんざい}存在の^{つうよう}インパクト」が^{つうよう}通用するのは^{しじょう}初期だけです。でも、^{ふたり}お二人なら^{だいじょうぶ}大丈夫。

^{りろん}インパクトだけでなく、^{しやかい}理論でも^か社会を^{ちから}変えていく^{しん}力を持っていると信じています。

もちろん、^りお2人の^{ちから}力に^{たよ}頼るだけではなく、^{わたし}私たちが^{うんどう}運動し、^{どうじ}同時にお2人の^{ぎいんかつどう}議員活動を^{おうえん}応援していきたいと思ひます。(堤)

事務局の動き 2019年6月16日～2019年9月15日

【主催講座等】

- ・親サポ・オンゴーイング月1回開催
- ・でかけ隊開催 毎月第4土曜日
- ・ほっとカフェM毎月第3土曜日(基本)開催
- ・重度訪問介護従業者養成研修【随時】
- ・ピアサポートグループ(ピア・カウンセリング受講修了者継続クラス)月1回
- ・ハンドブック委員会月1回開催
- ・TIL運営会議毎月1回開催(堤出席)
- ・町田フォーラム実行委員会 月1回

6月

- 16日(日) 第3回介助者勉強会「体を痛めない介助技術と日常での体の使い方」於 事務所 石塚・福田・宇野・たま澤(担当)
- 18日(火) 障害者(児)の親プログラム 於 フリースペース 福島(担当)
- 20日(木) I L Pリーダーズ 於 せりがや会館 川上・堤(担当)
- 21日(金) 社会福祉法人幹福社会評議委員会 於 立川 堤(出席)
- 22日(土) 第6回介助者お疲れ様会 於 徳樹庵
- 25日(火)～26日(水) C I Lちゅうぶ訪問 於 大阪 笠井(訪問)
- 25日(火) 東京都相談支援従事者初任者研修講義 於 練馬文化センター 堤(講師)
- 27日(木) 市民大学「まちだの福祉」 於 生涯学習センター 丸山(出席)

7月

- 4日(木) 厚生労働省主催相談支援の質の向上に向けた検討会ワーキンググループ 於 霞が関 堤(出席)
- 市民大学「まちだの福祉」 於 生涯学習センター 丸山(出席)
- 8日(月) 東京都相談支援従事者初任者研修ファシリテーター打ち合わせ 於 八王子 堤(出席)
- I L Pリーダーズ 於 調布 川上・吉野(参加)
- 9日(火) C I L小平訪問 堤・李・川上・福島・秋元・廣瀬他(訪問)
- 11日(木) 市民大学「まちだの福祉」 於 生涯学習センター 丸山(講師)
- 12日(金) プラス3介助者勉強会「コミュニケーション・対人関係が苦手な方の接し方」 於 パーソナルアシスタント町田事務所 鍋倉・たま澤(担当)
- 15日(月) ピア・カウンセリング公開セミナー 「難病・内部疾患・見えない障害の方の為のピアカン」 於 ことばらんど 堀内・谷川・松原・吉野(担当)

- 16日(火) 利用者講演会兼第4回介助者勉強会「障害と共に自分らしく生きる」於 事務所。
川上・福田・玉澤(担当)
厚生労働省主催相談支援の質の向上に向けた検討会 於 霞が関 堤(出席)
- 17日(水) 精神障害者地域移行研修 於 府中 吉野(参加)
- 23日(火) 東京都相談支援従事者初任者研修演習 於 川上(サポーター)
- 24日(水) 介護職員初任者研修 折笠(参加)
- 25日(木) 東京都相談支援従事者初任者研修演習 於 茗荷谷 松原(サポーター)
- 27日(土) 暑気払い 於 事務所 李・丸山・流川・田中・石塚・宇野(担当)
- 30日(火) 第5回介助者勉強会「調理実習基本編～カレーと肉じゃがをつくろう!～」
於 市民フォーラム 石塚他(講師)

がっ
8月

- 2日(金) TIL学習会 労働基準法研修 於 たましんRISURUホール立川
李・笠井(参加)
- 9日(金) シグナル 於 事務所 川上・谷川(担当)
- 13日(火) 東京都相談支援従事者養成研修検討会 於 飯田橋 堤(出席)
- 15日(木) JICA集会 於 代々木上原 李(参加)
- 22日(木) 市民大学プログラム会議 於 生涯学習センター 丸山(出席)
- 29日(金)～31日(土) ピア・カウンセリング委員会会議 於 神戸 堤(出席)
- 31日(土) 障害連シンポジウム2019 於 田町 吉野(参加)

がっ
9月

- 6日(金) TIL総会・学習会 労働基準法研修 於 立川 堤・梶田(参加)
特定相談支援事業所全体研修会 於 町田市役所 松原・吉野・堤(参加)
- 11日(水)～13日(金) 厚生労働省主催相談支援従事者指導者養成研修 於 所沢
堤(参加・講師)
- 町田市重度心身障害児者を守る会学習会 於 市民ホール 川上(参加)
- 12日(木) 第6回介助者勉強会「感染症予防」 於 パーソナルアシスタント町田事務所
芦原(担当)
- 13日(金) ピア・カウンセリング長期講座 於 ことばらんど 谷川・吉野(担当)

～お詫び～

ぜんごう (ニュースNo.135) 掲載の、元副理事長・マイライフ所長の齊藤功氏の「退職の挨拶」で、一部、読者方々が不安、不快に感じる表現がありました。

元役員の挨拶ということでの読者への影響力等、配慮に欠いた点がありました。

役員としてお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

りじちよう 理事長 つつみ 堤 あいこ 愛子

まちだ 町田ヒューマンネットワーク けっせい 結成30周年記念行事開催!

にちじ 日時 2020年2月15日(土) 13:00～

ばしょ 場所 町田市文化交流センター 6階ホール

しようさい 詳細は次回ニュースなどでお知らせ致します。

まだ先のことですが、ご都合もあると思いますので、早めに広報致します。

こくち イベント告知!

ほっとカフェM

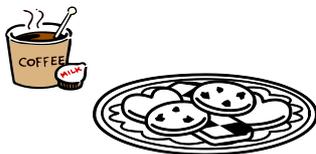
おいしいコーヒーとお菓子と顔なじみが待っています

まいつきだい 毎月第3土曜日 まちだ 町田ヒューマンフリースペースにて開催。

きも お気持ちのカンパをいただいています。

- 10月開催 10月19日(土) 14時より
- 11月開催 11月16日(土) 14時より
- 12月開催 12月21日(土) 14時より
- 1月開催 1月15日(土) 14時より

じ こしろうかい 自己紹介とひとことが
なぜか笑える昼下がり



へんしゅうこうき 編集後記

こんかい こんかい ざんてい へんしゅう たんとく
今回は暫定で編集を担当しました。

おおむかし しゃしん せいはん いんさつ ちゆうしん しょくぎょう
大昔に写真製版印刷を中心に職業
くんれん 訓練を受けた経験があり、まるっきり素人と
いうことではなのですが、技術の進歩は凄
ね～ワードでここまでの印刷物が作れるのだ
など、ちょっと啞然とした自分がいます。

じかいこう えむえつえぬ ますます ないよう
次回以降もMHNニュースは益々、内容を

じゅうじつ 充実させていくので、乞うご期待ください。

かわかみ 川上

発行所 東京都世田谷区祖師谷三―一―七―〇二
障害者団体定期刊行物協会 領価百円

じりつせいかつ まちだ
自立生活センター 町田ヒューマンネットワーク

〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガーロ町田1F
TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <https://www.cil-mhn-enjoy.com/> E-MAIL mhn89@nifty.com

しょうがいしゃせいせいかつしえん
障害者生活支援センターまちだや TEL 042-724-8616

ヘルパーステーション・マイライフ TEL 042-721-5044

がっつ にちげんざい
(9月12日現在)

せいかいりん めい
正会員 255名

さんじよかいりん
賛助会員 14名

だんたいかいりん だんたい
団体会員 9団体

ねんかいひ せいかいりん えん さんじよかいりん えん かいひふりにおきまき かにゆうしゃめい とくていひん えいりかつどうほうじん まちだ
年会費 正会員3000円 賛助会員3600円 会費振込先/加入者名:特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク 郵便振替口座:00130-4-539920

